

秘書職員課

秘書調查係
人事係
職員厚生係

秘 書 調 査 係

1 渉 外

(1) 基 地 関 係

年 月 日	件 名
51. 4. 5	横田基地公害訴訟団来庁
13	防衛施設局施設部施設企画課長外来庁
15	防衛施設局長来庁
16	防衛施設庁次長陳情
20	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議
21	" "
28	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会総会
5. 21	国会、大蔵省、自治省、防衛施設庁挨拶廻り
22	防衛施設庁次長来庁
28	防衛施設庁、局陳情
29	多摩地区離対協常任委員会
31	立川、横田基地対策協議会総会
6. 1	防衛施設庁、局陳情
3	"
8	多摩地区離対協総会
14	防衛施設庁、局陳情
16	"
17	"
21	"
24	"
26	"
29	"
7. 2	"
5	基地司令官と面会
6	防衛施設庁、局陳情

年 月 日	件 名
7. 7	基地対策特別委員会
8	防衛施設庁、局陳情
9	基地対策特別委員会防衛施設庁、局陳情
20	自治省陳情
21	防衛施設庁、局陳情
22	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会
23	自治省、防衛施設庁陳情
27	基地対策特別委員会防衛施設庁、局陳情
8. 4	防衛施設庁、局陳情
5	基地対策特別委員会
10	自治省、防衛施設庁陳情
17	防衛施設庁、局陳情
24	”
25	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議
28	離対センター協力会総会
30	多摩地区離対協理事会
9. 8	基地司令官と面会、基地調査
13	基地内視察、調査
14	基地副司令官来庁
18	離対センター評議員会
25	防衛施設庁陳情
29	基地対策特別委員会防衛施設局要請
10. 1	自治省、防衛施設庁陳情
2	防衛施設庁、局陳情
4	自治省陳情
7	沖縄市来庁
11	自治省担当官来庁
18	多摩地区離対協行政視察
22	防衛施設局総務部長来庁
26	福生市離対協議会

年 月 日	件	名
10. 26	防衛施設庁、局陳情	
28	防衛施設庁長官と面会	
11. 10	防衛施設局陳情	
13	〃	
15	基地司令官と面会	
17	立川、横田基地対策協議会臨時総会	
25	建設省陳情	
12. 1	基地司令官と面会	
3	防衛施設庁次長来庁	
9	防衛施設局次長来庁	
15	基地対策特別委員会	
16	防衛施設庁、局陳情	
17	防衛施設局総務部長来庁	
23	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議	
27	国会、防衛施設庁、自治省挨拶廻り	
52. 1. 6	防衛施設庁、自治省挨拶廻り	
7	在日米軍司令官来庁	
〃	国会挨拶廻り	
11	防衛施設庁、自治省挨拶廻り	
12	基地司令官と面会	
14	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議	
16	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会国会、関係省庁予算陳情	
17	〃	〃
18	〃	〃
19	〃	〃
20	〃	〃 御礼挨拶廻り
31	防衛施設庁、局陳情	
2. 2	〃	
3	防衛施設庁長官と面会	

年 月 日	件 名
8	基地対策特別委員会防衛施設庁、局陳情
14	防衛施設局総務部長来庁
16	防衛施設周辺整備協会準備委員会
17	全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会合同役員会
3. 3	綾瀬町来庁
12	大蔵省、自治省陳情
22	防衛施設庁、局陳情
25	〃
26	離対センター評議員会
29	防衛施設局長来庁

(2) 八高線電車化促進期成同盟会

国鉄八高線の電車化を促進し、沿線地域の経済開発を図り、関係住民の福利の増進に寄与するため、関係省庁に対して早期電車化実現の陳情を強力に行ってきた。

加入団体は、次の17市町村

東京都	八王子市	昭島市	福生市	瑞穂町
埼玉県	入間市	飯能市	日高町	毛呂山町
	越生町	小川町	寄居町	児玉町
	都幾川村	美里村	神川村	
群馬県	藤岡市	高崎市		

(3) 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

中央線及び青梅線の輸送力の増強によって、地域社会の開発、住民の福祉向上を期するため、三鷹・立川間の立体化複々線の線増、並びに、青梅および五日市線の都心への直

通運転の実現をめざして、関係省庁に対し強く要望してきた。又、運動推進強化のため未加入市の加入促進を行い、4市の加入を得て、13市5町1村の19団体となった。加入団体は次のとおりである。

立川市	福生市	小平市	奥多摩町
青梅市	八王子市	武蔵村山市	五日市町
昭島市	日野市	東大和市	日の出町
国分寺市	秋川市	瑞穂町	檜原村
国立市	東村山市	羽村町	

2 収 益 事 業 (競 輪)

東京都市収益事業組合の主催による本年度の開催回数、成績は次のとおりである。

回数	開催日	競輪場	売上額	入場者数
1	6. 17 ~ 6. 22	立川	2,888,179 ^{千円}	110,690 ^人
2	7. 3 ~ 7. 5 7. 15 ~ 7. 17	"	3,121,969	119,432
3	9. 2 ~ 9. 4 9. 17 ~ 9. 19	"	2,778,644	107,666
4	11. 3 ~ 11. 5 11. 12 ~ 11. 14	"	2,260,166	86,219
5	1. 30 ~ 2. 1 2. 17 ~ 2. 19	京王閣	3,068,093	103,188
6	3. 3 ~ 3. 8	立川	2,761,305	99,511
7	3. 13 ~ 3. 15 3. 18 ~ 3. 20	京王閣	2,841,796	99,433
合 計			19,720,152	726,139

収益金の配分額は次のとおりである。

配分金 127,000千円

人 事 係

1 特別職の職別職員数

職 名	職員数	職 名	職員数
市長	1人	選挙管理委員会委員	4人
助 役	1	農業委員会委員	16
収入 役	1	固定資産評価審査委員会委員	3
市議会議員	24	監 査 委 員	2
教育委員	5		

2 課別職員数

区 分	吏 員 雇 員				技 能 労務職	計	男	女
	事 務	技 術	主事補	技師補				
企 画 財 政 課	11人	人	2人	人	人	13人	12人	1人
秘 書 職 員 課	9		1		1	11	8	3
庶 務 課	16		4		10	30	19	11
税 務 課	23		7			30	24	6
市 民 課	15		16			31	19	12
環 境 保 全 課	14		2		6	22	19	3
経 済 課	7		3			10	9	1
福 祉 事 務 所	31		2		10	43	15	28
建 設 課	6	5	3	1	6	21	20	1
用 地 課	5	1	1			7	7	
都 市 計 画 課	5	6			3	14	13	1
下 水 道 課	5	8	3			16	15	1
水 道 事 務 所	11	4	5	2	10	32	28	4
会 計 課	5		1			6	5	1
議 会 事 務 局	5		1		1	7	5	2
選挙管理委員会事務局	3					3	2	1
監 査 委 員 事 務 局	1		1			2	1	1

教育委員会	庶務課	7	2	4		19	32	17	15
	学務課	18		2		13	33	18	15
	社会教育課	13		4		1	18	16	2
合計		210	26	62	3	80	381	272	109

(51.4.1の職員数は389人)

3 発 令

(1) 昇 格

年月日	氏 名	任命(補職)事項	年月日	氏 名	任命(補職)事項
51.4.1	島崎 正雄	市立図書館副館長	51.4.1	松本 朝子	事務吏員主事
"	田村 功	福祉会館副館長		井上美智子	"
"	古谷 光好	事務吏員主事		村木利枝子	"
"	橋本 吉郎	"		中村 薫	"
"	浜野 宏	"	51.10.1	塩野 勝己	"
"	岩崎俊太郎	"			
"	小沢 正幸	"			
"	橋本 修一	"			
"	小林 真志	"			
"	伊藤 章一	"			
"	高山 頼子	"			
"	小室八千代	"			
"	町田 一枝	"			
"	清水美智子	"			
"	江田 敏雄	"			
"	音揃八千代	"			
"	山崎 勇	技術吏員技師			

(2) 異 動

年月日	氏 名	異 動 後	異 動 前
51. 4. 1	井 上 秀 男	企画財政課	市 民 課
"	村 山 雅 直	庶 務 課	経 済 課
"	島 田 繁 次	税 務 課	水道事務所
"	中 村 薫	"	教育委員会庶務課
"	岡 野 康 弘	"	市 民 課
"	小 林 昌 男	"	"
"	千 羽 和 男	"	"
"	築 地 英 明	市 民 課	税 務 課
"	中 村 守 一	"	教育委員会社会教育課
"	狐 塚 正	"	企画財政課
"	橋 本 吉 郎	"	税 務 課
"	市 川 信 明	環境保全課	福祉事務所
"	矢 口 千 恵 子	"	教育委員会社会教育課
"	石 川 昭 博	"	庶 務 課
"	山 崎 典 雄	経 済 課	環境保全課
"	高 橋 保 雄	福祉事務所	"
"	中 村 幸 男	"	税 務 課
"	石 川 恵 一	建 設 課	下 水 道 課
"	三 浦 真 也	下 水 道 課	建 設 課
"	芦 沢 重 利	水道事務所	会 計 課
"	西 湖 均	"	税 務 課
"	細 谷 由 利 江	会 計 課	福生第三小学校
"	平 野 頼 利	教育委員会社会教育課	福祉事務所
"	山 口 三 枝	教育委員会学務課	福生第二小学校
"	古 谷 と み 子	福生第二小学校	税 務 課
"	綱 川 由 美 江	福生第三小学校	環境保全課
"	菊 池 英 夫	学校給食センター	建 設 課
51. 7. 1	斉 藤 多 市	秘書職員課長	下水道課長
"	乙 津 宗 吉	庶 務 課 長	選挙管理委員会事務局長

年月日	氏名	異動後	異動前
51. 7. 1	森田 猛	環境保全課長	福祉事務所長
"	生子 国利	経済課長	庶務課長
"	八木 房雄	福祉事務所長	環境保全課長
"	森田 進	建設課長	経済課長
"	黒田 登	用地課長	建設課長
"	内田 和雄	都市計画課長	教育委員会庶務課長
"	須崎 進	下水道課長	用地課長
"	高水 求	水道事務所長	秘書職員課長
"	井上 久雄	選挙管理委員会事務局長	水道事務所長
"	浅見 裕康	教育委員会庶務課長	都市計画課長
51. 8. 10	岡部 清人	企画財政課企画担当主査	庶務課文書係長
"	岩崎 好亮	企画財政課財政係長	水道事務所管理係長
"	安藤 昭二	秘書職員課職員厚生係長	経済課消費生活係長
"	田村 一郎	庶務課文書係長	建設課管理係長
"	中村 美雄	庶務課広報係長	教育委員会学務課教職員係長
"	宮城 真一	税務課固定資産税係長	庶務課広報係長
"	関根 茂一	税務課徴収係長	用地課第二係長
"	設楽 茂生	市民課市民係長	水道事務所業務係長
"	堀口 茂男	市民課年金係長	教育委員会庶務課庶務係長
"	会沢 忠	環境保全課防災係長	都市計画課区画整理係長
"	雨宮 修介	経済課消費生活係長	税務課徴収係長
"	小峰 敬一	福祉事務所福祉係長	監査委員事務局監査係長
"	木村 シズ子	福祉事務所保育係長	市民課年金係長
"	野崎 薫	建設課管理係長	教育委員会庶務課給食係長
"	設楽 政男	用地課第一係長	市民課市民係長
"	清水 洋治	用地課第二係長	会計課審査係長
"	中根 三規夫	都市計画課区画整理係長	用地課第一係長
"	内田 武男	都市計画課公園係長	都市計画課福生駅東口開発担当主査
"	村野 和男	水道事務所管理係長	税務課固定資産税係長
"	宮本 豊員	水道事務所業務係長	福祉事務所保育係長

年月日	氏名	異動後	異動前
51. 8. 1	山口建三	会計課審査係長	環境保全課防災係長
"	原嶋勝喜	監査委員事務局監査係長	都市計画課公園係長
"	橋本好夫	教育委員会庶務課庶務係長	企画財政課財政係長
"	柴田正敏	教育委員会庶務課給食係長	福祉事務所福祉係長
"	渡辺義紀	教育委員会学務課教職員係長	秘書職員課職員厚生係長
"	持田異	教育委員会社会教育課社会教育係長	企画財政課企画担当主査
"	野沢久人	教育委員会社会教育課市民会館開設担当主査	教育委員会社会教育課社会教育係長
"	小林正雄	企画財政課	経済課
"	石川福男	秘書職員課	下水道課
"	岡野美智子	"	市民課
"	町田一枝	庶務課	水道事務所
"	井上美智子	"	福祉事務所
"	浦野和枝	"	選挙管理委員会事務局
"	岩崎俊太郎	税務課	環境保全課
"	板垣俊和	"	庶務課
"	野村敬二	"	会計課
"	早川新一	"	水道事務所
"	森谷稔	市民課	税務課
"	鳥海好江	"	庶務課
"	袴田靖子	"	"
"	渡辺良郎	環境保全課	経済課
"	森田明弘	経済課	税務課
"	小林真志	"	建設課
"	小室八千代	福祉事務所	秘書職員課
"	薄田道夫	建設課	税務課
"	中村利夫	"	都市計画課
"	児島和夫	"	水道事務所
"	大和正幸	都市計画課	教育委員会庶務課
"	村尾伝	下水道課	秘書職員課
"	小林重雄	"	建設課

年月日	氏名	異動後	異動前
51. 8. 10	平間清美	水道事務所	市民課
"	清水常男	"	"
"	岸野幸司	"	建設課
"	吉野光男	会計課	税務課
"	原島三千代	選挙管理委員会	庶務課
"	荒井公雄	教育委員会庶務課	都市計画課
"	宮田満	教育委員会社会教育課	企画財政課
"	藤田充	"	庶務課
51. 10. 1	梶勉	議会事務局	福祉事務所
"	武井庵	福祉事務所	環境保全課
"	田中才一	環境保全課	都市計画課
"	柳沢正一	都市計画課	建設課
51. 12. 1	町田一枝	"	庶務課

(3) 採用

年月日	氏名	所属	職種
51. 4. 1	佐野光江	福祉事務所	保母
	島弘	教育委員会社会教育課	事務職
51. 10. 1	佐藤寿子	福祉事務所	保母

(4) 派遣

氏名	職名	事項
石川和夫	会計課長	自治大学校二部第55期生 51. 4. 6~51. 6. 18
川辺登茂次	下水道課計画係長	" 56 " 51. 6. 24~51. 9. 7
野崎薫	建設課管理係長	" 57 " 51. 10. 13~51. 12. 25
田村一郎	庶務課文書係長	" 58 " 52. 1. 11~52. 3. 26

(5) 退 職

年 月 日	氏 名
5 1. 6. 3 0	野 島 千 ヨ
5 1. 7. 2 4	工 藤 金 太 郎
5 1. 8. 1 0	斉 藤 キ ヌ 子
5 1. 1 1. 2 0	関 田 勇 司
5 1. 1 2. 1 0	青 木 梅 子
5 1. 1 2. 3 1	清 水 大 助
"	佐 藤 カ ツ
5 2. 2. 2	宮 本 道 子
5 2. 3. 3 1	矢 沢 福 治

(6) 休 職

氏 名	期 間
石 田 武 美	51. 9. 25 ~ 51. 12. 1

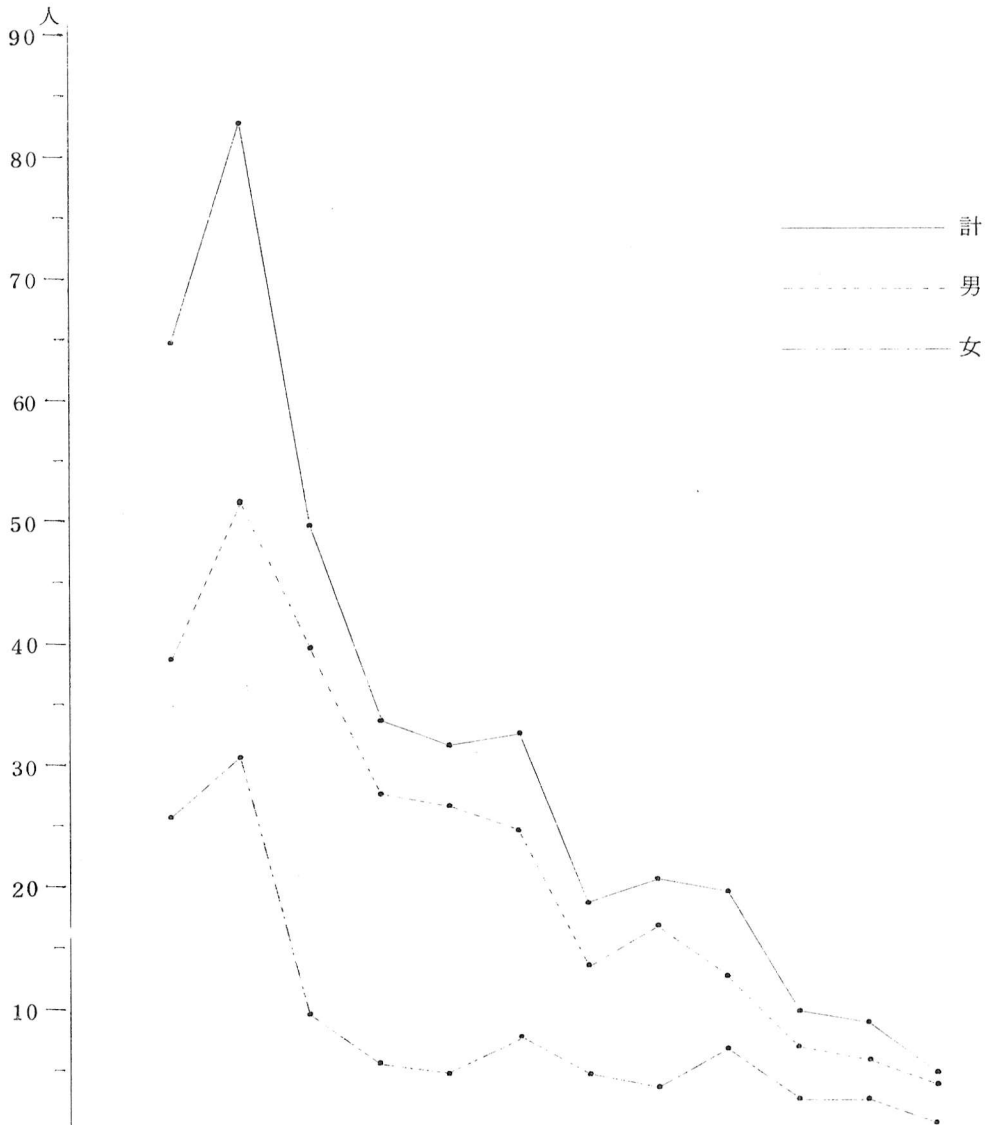
4 採 用 試 験

試 験 日	職 種	応 募 者	受 験 者	登 録 者 (採 用 者)
51. 8. 24	保 母	3人	3人	1 (1)人
51. 11. 7	事 務 職	290	222	14 (12)
52. 2. 9	学 校 事 務 職	47	41	3 (3)
52. 3. 2	保 母	3	2	1 (1)

5 職員の居住地状況

市 町 村 名	人 員	市 町 村 名	人 員
福 生 市	1 8 9 人	檜 原 村	3 人
青 梅 市	5 1	立 川 市	3
秋 川 市	2 9	日 野 市	2
羽 村 町	2 7	武 蔵 村 山 市	2
日 の 出 町	1 6	保 谷 市	1
昭 島 市	1 3	国 分 寺 市	1
瑞 穂 町	1 3	東 大 和 市	1
奥 多 摩 町	1 3	入 間 市	1
五 日 市 町	1 0	横 浜 市	1
八 王 子 市	5	計	3 8 1

6 年 齡 別 職 員 數



年 齡	18~19	20~23	24~27	28~31	32~35	36~39	40~43	44~47	48~51	52~54	55~57	58~60	61~64	計
計		65	83	50	34	32	33	19	21	20	10	9	5	381
男		39	52	40	28	27	25	14	17	13	7	6	4	272
女		26	31	10	6	5	8	5	4	7	3	3	1	109

7 特別職報酬審議会

(1) 51年1月開催

イ 委 員

氏 名	住 所
山 下 光 一	福生区志茂120番地
木 村 貞 子	" 熊川809番地
高 水 惣 八	" " 343番地
田 村 福 一	" 福生1,044番地
天 野 正 男	" " 650番地
中 村 国 太	" 牛浜47番地
大 沼 秀 伍	" 本町23番地
大久保 一 郎	" 熊川588番地
斉 藤 巽	" " 685番地

ロ 諮 問

福秘発第 3160 号

昭和51年1月23日

福生市特別職報酬等審議会々長 殿

福生市長 石 川 常太郎

特別職報酬等の額について（諮問）

福生市特別職報酬等審議会条例第2条の規定により、次の事項について諮問いたします。

- 1 市議会議員の報酬額
- 2 市長等の給与額
- 3 教育長の給与額
- 4 上記改定に伴う実施時期

ハ 審議会の経過

会 議	年 月 日	場 所
第 1 回	5 1. 1. 2 3	2 階 会 議 室
2	5 1. 1. 2 9	
3	5 1. 2. 2	
4	5 1. 3. 8	
5	5 1. 3. 2 2	
6	5 1. 4. 5	
7	5 1. 4. 2 7	

(第4回までは50年度と重複しています。)

ニ 答 申

昭和51年4月27日

福生市長 石川 常太郎 殿

福生市特別職報酬等審議会

会 長 中 村 国 太

福生市特別職報酬等の額について(答申)

昭和51年1月23日付け、福秘発第3160号をもって諮問のあったこのことについて、別紙のとおり答申いたします。

答 申 書

福生市長から、昭和51年1月23日付けをもって「市議会議員並びに市長等常勤特別職の報酬額等の改定と実施時期」について諮問を受けた当審議会は、審議を行うにあたって、当然のことながら市民を代表する立場から、その責務の重要性を自覚すると同時に、終始公正な立場に立って審議して行くことを基本姿勢として会議を進めてまいりました。

申しあげるまでもなく、驚くべき高度経済成長の道を歩んできた我が国は、昭和48年のオイルショック以来、国外の資源に依存しなければならなかった経済体質の弱さを暴露し、一転して、今日のような低経済成長への道を余儀なくされ、経済の不況は長期化の様相が予測されています。

これにより、多くの地方自治体の運営も悪化し、程度の差こそあれ、財政の硬直化がますます進んでおります。こうした情勢下において、市の発展と住民福祉の向上のため、たゆまぬ努力を傾注されておられる市長、市議会議員並びに市政にたずさわる各位に対し、委員一同、心から敬意を表する次第であります。

さて、諮問を受けた報酬額等の改定の必要性であります。現行の額は、昭和49年11月1日に改定されたもので、その後、他市においても改定が行われており、また、当市の一般職の職員についても、人事院勧告に準じて、昭和50年4月1日から給与と改定が実施されており、その結果、すでに特別職の給与を上まわる給与の支給を受けている職員もおります。したがって、これらを比較検討した場合、特別職等の報酬額についても改定を行う必要があると考えられます。しかし、昌頭にも申しあげましたように、今日のような不況の影響で、地方自治体の財政はますます悪化し、企業は依然として業績の回復が遅れ国民生活は物価高の中で、日を追って苦しさを増している中で、単に比較論のみで報酬額等の改定を行うことは、住民感情等を考慮するとき、必ずしも妥当とは言えず、このことが、かえって円滑な行政運営の妨げとなることも想定されるので、当審議会としても、決定事項が住民に理解されるような方向で、より慎重に検討すべきであるというのが一致した意見であった。したがって、今回はかつてない多くの資料と日程を要する中で、慎重かつ冷静な判断のもとに十分な審議を尽くしてまいりました。

なお、今回の審議会の特徴としては、期間を通して二つに区分することができると思う。一つは、第1回から第3回までであり、二つ目は第4回以降である。

まず第1回から第3回までの審議内容の要旨としては、

- 1 昭和51年度の税収はほとんど増収が見込めない反面、義務的経費は増加し、財政の硬直化が深刻化している。
- 2 当市の財政力指数は都下26市の中で低位にある。
- 3 今後の行政運営を推進するため、特に住民感情を十分考慮する必要がある。

等々であった。

しかし、当審議会は第3回の会議開催と同時期に、他市においても審議会を開催していることを重視し、約1ヶ月間会議を休会し、この間他市の動向を見たいうで審議会を再開

し、改定の是非について結論を出すことにした。

その結果、再開した審議会では、再開前の考え方を前提としながらも、次のような点も考慮の対象にしなければならないという各委員の意見があった。

- 1 不均衡の是正、報酬の適正水準への引上げの必要性は認めるが、現下の財政事情から今回の改定は見送るべきであるとの意見もあったが、改定を見送り、近い時期に審議会を開催した場合、その時点でも、景気の回復は望めないと思われるので、今回と同じケースが想定される。
- 2 今回、改定を見送った場合、他市あるいは一般職の職員との較差が、さらに増大すると思われる。その較差を縮小しようとする、その時が不況下であっても、高額改定を行わなければならないことが想定され、その場合、一度に多くの財政需要が必要となるため、市民の理解を得ることができるかどうか極めて疑問である。
- 3 すでに一般職の職員との比較で、特別職等の給与が一般職の給与を下まわっている。
- 4 昭和49年11月以降、東京都区部の消費者物価指数が14%程度上昇している。
- 5 現下の厳しい財政状況の中で、常に住民福祉の向上あるいは調和のとれた住み良い街造りのため、補助金、交付金等の財源確保に努力され、例えば、昭和49年度決算を見れば、住民1人当りの税収では、都下26市中24位であるのに対し、投資的経費においては2位という実績を見ても理解できるとおり、住民の少ない負担で多くの福祉を還元する等、非常に努力されている。
- 6 諸般の情勢を考慮し、小刻みな引上げであっても、この際、改定をした方がよい。等々であった。

当審議会としては、以上の考え方を調整しつつ慎重審議を行った結果、極めて厳して社会情勢ではあるが、市長をはじめ市議会議員各位の今後の活躍をさらに期待し、次のとおり報酬額等及び実施時期について決定を見たので、ここに本答申を行うものであります。

1 市議会議員の報酬額

職名	報酬月額
議長	180千円
副議長	155
常任委員長	145
議員	140

2 市長等常勤特別職の給与額

職 名	給 料 月 額
市 長	3 8 6 千円
助 役	3 3 8
収 入 役	3 2 5
教 育 長	3 2 5

3 実施時期

本答申に掲げる改定は、昭和51年4月1日から実施すること。

4 そ の 他

本答申を行うについては、20種類に及ぶ資料と4ヶ月にわたる長期間を要する中で検討し決定したものであるが、結果としては、議員諸氏、理事者におかれましては、その重職に対する処遇といたしましては、誠に不満足なものであると思いますが、度々申しあげますように、現下の情勢と住民感情あるいは今後の円滑な行政運営に及ぼす影響等を十分配慮したものでありますので、諸般の情勢を御賢察くださりまして、なお一層の努力により、その職務を遂行されますよう期待いたします。終りに本答申に対し、市民の深い御理解を心から望むものであります。

(2) 52年1月開催

イ 委 員

氏 名	住 所
山 下 光 一	福生市志茂120番地
高 水 惣 八	" 熊川343番地
田 村 福 一	" 福生1,044番地
大 沼 秀 伍	" 本町23番地
齊 藤 巽	" 熊川685番地
田 村 匡 雄	" 福生1,112番地
宮 川 昭 二	" " 871番地
大 野 忠 一	" " 1,685番地
天 田 君 子	" 本町2番地

ロ 諮 問

福秘発第 3301 号

昭和52年1月27日

福生市特別職報酬等審議会々長 殿

福生市長 石 川 常太郎

特別職の報酬等の額について（諮問）

福生市特別職報酬等審議会条例第2条の規定により、次の事項について諮問いたします。

- 1 議会の議員の報酬額
- 2 市長・助役・収入役及び教育長（以下「市長等」という）の給料の額
- 3 上記改定に伴う実施時期

ハ 審議会の経過

会 議	年 月 日	場 所
第 1 回	5 2. 1. 2 7	3 階 委 員 会 室
2	5 2. 2. 7	
3	5 2. 2. 1 0	
4	5 2. 2. 2 1	

ニ 答 申

昭和52年2月21日

福生市長 石 川 常 太 郎 殿

福生市特別職報酬等審議会

会 長 山 下 光 一

特別職の報酬等の額について（答申）

昭和52年1月27日付け、福秘発第3301号をもって諮問のあったこのことについて、別紙のとおり答申いたします。

答 申 書

福生市長から、昭和52年1月27日付けをもって「市議会議員並びに市長等の報酬額の改定と実施時期」について諮問を受けた当審議会は、その重要性にかんがみ、終始公正な立場に立って慎重審議をして行くことを基本姿勢として会議を進めてまいりました。申し上げるまでもなく、経済不況は底深いものがあり、企業も不況から脱しきれず今なお倒産が続いています。しかし、こうした経済情勢下にあっても、地方自治体の行政需要はますます増大しているのが実情であり、これに対処する各自治体の多くは依然として財政の硬直化が続いています。当市においても住民福祉向上のための施策が次

々と行われており、又住民の行政に対する要望は多種多様、広範囲となっておりますが、財政力の弱い本市において、常に住民の幸せを願って御努力を傾注されております市長をはじめ市議会議員、その他市政にたずさわる各位に対し委員一同心から敬意を表します。

さて、諮問を受けた報酬額の改定の必要性ですが、その有無を決定する前に、本市の現行報酬額が妥当なものであるのかどうかについて検討を行うことにしました。そのために、都下市町村の状況等に関する資料を事務局に求めたところ、都下26市の財政力に関する調べ、報酬額の比較、今後の収入見込、議会の活動状況等、有効適切な多くの資料を得ましたので、これを審議過程における資料としながら積極的な審議を行ったところ、他市町村の報酬額との比較、一般職の職員の給与との比較、消費者物価指数の上昇、市の特殊性等に審議が集中し、本市においても、この際報酬額の改定を行うべきであるとの意見で一致しました。

しかしながら、当審議会としても額の決定については安易な考え方で決定することは今日のような社会情勢の中で市民の理解を得ることは困難であり、このことがかえって今後の円滑な行政運営の障害にもなりかねないことを深く認識し、その結果が市民から十分納得の得られるものであるよう配慮し、審議を行ってきました。

ついては、報酬改定の要素となった主なものについて項目ごとに列記してみますと、

1 他市町村との比較

本市の報酬額は、昭和51年4月1日に改定したものであるが、その後、都下の各市町村で大巾な報酬改定が実施され、本市の報酬額は26市中24番目から26番目と最下位相当にある。また、本市の財政力は都下26市中下位にあり、決して健全財政とはいえないが、最近における税収の伸率は額の差こそあれ、順調に上昇している。ただ市民一人当たりの税収額については、26市中24番目で住民の税負担は他市より少ないことを示しているが、反面、決算額、投資的経費における市民一人当たりの額は26市中1位ないし2位となっている。これは理事者市議会議員各位が福生市の特殊性をよく理解し、民生安定のための行政を積極的に推進する等、常に活発な政治活動を行っている結果、補助金の獲得等自己財源以外の資金により市民に多くの福祉を還元していることを表わしているもので、その責任と労に報いるための報酬額としては決して十分なものであるとはいえない。

2 一般職の職員との比較

一般職の職員については、昭和51年4月1日にさかのぼって給与改定が実施されており、その結果、すでに助役、収入役、教育長の給与を越えて支給を受けている職

員がいる。一般職の職員より低額であるということは自治体の組織上、その責任性において必ずしも適当でない。

3 消費者物価指数の上昇

一時鎮静化の傾向にあった消費者物価指数も、昨年1月頃から上昇し、現在昨年同期比で10%程度の上昇率を示しているので、最低でも物価指数の上昇分程度は考慮すべきである。

4 福生市の特殊性

横田基地の大半をかかえた当市は、行政上多くの問題があり、市民生活にも多くの影響を受けており、市民感情的にも困難な問題が山積されている。従って、基地存在に伴う補償、財源の補助確保、施設の拡充等民生安定のため、他市にない多くの苦勞をたえず背負っている。

その他にも改定の要素となる意見が数多くあり、この際、改定を行ったとしても市民の御理解をいただけるものと確信し、極めて厳しい社会情勢ではありますが、市長等市議会議員各位の今後の活躍と市民全体の福祉向上を更に期待し、次のとおり改定すべき報酬額と実施時期について決定を見ることができましたので、ここに本答申を行います。

議員諸氏、理事者におかれましては、諸般の情勢を御賢察くださりまして、なお一層の努力によりその職務を遂行されますよう期待いたします。

1 議会の議員の報酬額

職 名	報 酬 月 額
議 長	2 2 5 千円
副 議 長	2 0 0
常 任 委 員 長	1 9 0
議 員	1 8 5

2 市長等の給料の額

職 名	給 料 月 額
市 長	4 5 0 千円
助 役	3 9 5

収 入 役	3 8 0 千円
教 育 長	3 8 0

3 実 施 時 期

本答申に係る改定は、昭和52年4月1日から実施すること。

8 給 与 改 定

区 分	福 生 市				東京都人事委員会勧告				国家公務員人事院勧告			
	5 1		5 0		5 1		5 0		5 1		5 0	
給 料	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
	7400	463	9215	643	10205	557	14356	887	9527	601	13215	944
諸手当等	2049	128	1969	137	1925	105	2456	152	1487	093	1962	141
計	9449	591	11184	780	12130	662	16812	1039	11014	694	15177	1085

職 員 厚 生 係

1 職 員 研 修

研 修 名	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
組 織 内 研 修					
課 長 研 修	1. 28	1	管理職員	19	NM法の進め方、その他
係 長 研 修 (第1回)	1. 24~ 1. 25	2	係 長	30	行政の推進と係長の役割
” (第2回)	1. 26~ 1. 27	2	”	26	”
東京都市町村職員研修					
新任研修第一部(第1回)	6. 2~ 6. 7	4	新規採用職員	1	地方公務員となって仕事と職場
” (第2回)	6. 8~ 6. 11	4	”	1	”
新任研修第二部(第1回)	9. 27~10. 2	6	”	3	”
新任研修第二部大卒(第1回)	11. 15~11. 20	5.5	”	1	憲法と地方自治、地方公務員制度
新任研修第二部高卒(第2回)	12. 13~12. 18	6	”	2	法と憲法、地方自治のしくみ
現任研修第一部(第1回)	6. 23~ 6. 30	6	新任研修終了者	2	行政法、民法、地方財政論
” (第2回)	9. 13~ 9. 21	6	”	1	”
” (第3回)	11. 24~12. 1	5.5	”	3	”
” (第4回)	3. 7~ 3. 14	7	”	2	”
現任研修第二部(第1回)	9. 1~ 9. 8	6	現任研修一部終了者	1	仕事の管理技法、PERT
” (第2回)	11. 1~11. 19	6	”	1	”

研 修 名	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
現任研修第二部(第3回)	12. 6~12. 13	6	現任研修一部終了者	1	仕事の管理技法、開発と自然保護
〃 (第4回)	12. 14~12. 21	6	〃	1	仕事の管理技法、福祉問題
〃 (第5回)	1. 12~ 1. 19	6	〃	2	仕事の管理技法、PERT
〃 (第6回)	2. 21~ 2. 28	6	〃	2	〃
係長研修第一部(第1回)	6. 28~ 7. 2	5	係 長	1	行政の推進と係長の役割、職場と集団
〃 (第2回)	7. 12~ 7. 16	5	〃	1	〃
〃 (第3回)	8. 16~ 8. 20	5	〃	1	〃
〃 (第5回)	10. 4~10. 8	5	〃	2	〃
係長研修第二部(第2回)	10. 12~10. 15	4	〃	1	市町村行政の課題、監督のあり方
〃 (第3回)	11. 9~11. 12	4	〃	1	〃
〃 (第4回)	11. 6~11. 19	4	〃	1	〃
課長研修第二部(第2回)	10. 20~10. 22	3	課 長	1	自治体の広報、自治体と情報管理
用地取得科研修	6. 7~ 6. 12	6	用地関係職員	1	用地取得の手續、土地の評価
保母科研修(第1回)	6. 14~ 6. 19	6	新規採用職員	1	保育のあり方、地方公務員制度
〃 (第2回)	7. 5~ 7. 10	6	〃	1	〃
保母科研修	8. 30~ 9. 3	5	中堅職員	1	職場と集団、保育の現状と課題
税務課研修(固定資産税)	7. 5~ 7. 10	6	固定資産税関係職員	1	家屋評価実務、その他
〃 (住 民 税)	7. 19~ 7. 24	6	住民税関係職員	1	所得税法、住民税(個人、法人)
〃 (徴 収)	9. 20~10. 2	9	徴収関係職員	1	滞納処分、差押処分

	建築科研修	8. 23~ 8. 28	6	建築関係職員	1	給排水衛生設備、建築基準法
	国保事務科研修	11. 8~11. 12	5	国保関係職員	1	国民健康保険制度、保険財政
	契約事務科研修	11. 8~11. 12	5	契約関係職員	1	契約関係法、契約事務手続
	地方自治法科研修	1. 12~ 1. 25	10	係長以上	1	地方公共団体の機能、その他
	広報広聴科研修	1. 31~ 2. 4	5	広報関係職員	1	行政公報論、広報紙編集の実際
東京都職員研修						
	係長研修(第7回)	9. 20~10. 1	9	係長	1	職場と集団、仕事の管理
	" (第8回)	11. 8~11. 19	9	"	1	"
東京都公害局研修						
	公害専門研修	7. 22~ 7. 24	3	公害関係職員	1	公害実務
東京法務局研修						
	戸籍事務研修(初級)	6. 7~ 6. 12	6	戸籍関係職員	1	戸籍法総論、届出書
	" (中級)	6. 22~ 6. 25	3	"	2	涉外戸籍総論、各論
	" (初級)	9. 6~ 9. 10	5	"	2	戸籍法総論、届出書
	" (中級)	9. 20~ 9. 22	3	"	1	涉外戸籍総論、各論
東京都民生局研修						
	保母科研修	1. 12~ 1. 27	5	保母	1	保育のあり方、その他
	"	12. 13~12. 21	5	"	1	"
自治大学校研修						
	第二部第55期研修	4. 6~ 6. 18	53.5	課長及び係長	1	法制経済、地方行政

研 修 名	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
第二部第56期研修	6. 24~ 9. 7	54	課長及び係長	1	法制経済、地方行政
" 57 "	10. 13~12. 25	52	"	1	"
" 58 "	1. 11~ 3. 26	53	"	1	"

2 福利厚生

(1) 福生市職員共済組合

ア 事業実施状況

月 日	事業内容	参加人員
4. 1～ 3. 31	職員家族の保養施設を開設	6 1 2人
6. 12	第16回東京都市町村職員共済組合卓球大会に参加	1 6
7. 17	第17回東京都市町村職員共済組合野球大会に参加	7 5
7. 31	26市職員親睦陸上競技大会に参加	2 0
8. 5	福生七夕まつり流し踊りに参加	5 0
8. 7	26市職員親睦バレーボール大会に参加	3 0
8. 27～10. 3	職員親睦旅行を実施	1 5 5
9. 18	第16回東京都市町村職員共済組合バレーボール大会に参加	2 8
4. 10	職員、家族慰安会を実施	5 1 2

イ 給付金支給状況

種類	件数	金額
入学祝金	27人	270千円
結婚祝金	組合員 14	367
	家族 3	
結婚記念祝金	11	165
出産祝金及見舞金	24	240
傷病見舞金	組合員 22	460
	家族 2	
弔慰見舞金	家族 9	546
退職慰労金	8	298

ウ 生計資金貸付状況

貸付者数	106人
貸付金額	9,333千円
運用資金額	4,200千円

(2) 東京都市町村職員共済組合

ア 組合員数及び被扶養者数

組 合 員 数			被 扶 養 者 数
男	女	計	
277 人	109 人	386 人	454 人

イ 掛金負担金

短 期		長 期			事 務 費
掛 金	負 担 金	掛 金	負 担 金	追加費用 (既裁定金)	
27,963 ^{千円}	27,963 ^{千円}	32,194 ^{千円}	44,793 ^{千円}	21,441 ^{千円}	1,725 ^{千円}

ウ 各種給付金

(1) 短期給付金

種	類	件 数	金 額
出 産 費	組 合 員	6 件	676 千円
	配 偶 者	16	1,653
育 児 手 当 金	組 合 員	6	14
	配 偶 者	16	38
埋 葬 料	組 合 員	0	0
	被 扶 養 者	4	548
療 養 費	組 合 員	4	53
	被 扶 養 者	5	204
出 産 手 当 金		0	0
傷 病 手 当 金		0	0
休 業 手 当 金		0	0
災 害 見 舞 金		0	0
弔 慰 金	組 合 員	0	0
	被 扶 養 者	0	0

(イ) 長期給付金

種 類	件 数	金 額
退 職 年 金	1 件	1, 1 6 5 千円
減 額 退 職 年 金	0	0
通 算 退 職 年 金	3	1, 3 9 9
退 職 一 時 金	5	1, 4 0 1
返 還 一 時 金	0	0
廃 疾 年 金	0	0
廃 疾 一 時 金	0	0
遺 族 年 金	0	0
死 亡 一 時 金	0	0
通 算 遺 族 年 金	0	0

(ウ) 付加給付金

種 類	件 数	金 額	
家 族 療 養 費	1, 3 3 8 件	2, 4 8 3 千円	
結 婚 手 当 金	1 5	4 5 0	
災 害 見 舞 金	0	0	
埋 葬 料	組 合 員	0	
	被 扶 養 者	4	2 0 0
出 産 費	組 合 員	6	2 4 0
	配 偶 者	1 6	6 4 0
育 児 保 健 助 成 金	2 2	1 6 7	

エ 貯金及び貸付状況

種 類	件 数	金 額	
貯 金 残 高	2 7 6 件	1 4 4, 5 0 4 千円	
貸 付	普 通 貸 付	8 2	2 0, 1 4 6
	住 宅 貸 付	7 5	1 7 0, 6 3 3
	特 別 貸 付	3	7 1 3

オ 健康組合員の表彰

男子 35人 女子 18人 合計 53人

カ 契約旅館、保養所利用状況

種 別	利用者数(被扶養者含)	補助金額
契約旅館	403人	604千円
契 所	71	53
保養所「たてしな」	153	211

(3) 健康管理

ア 検 診

種 目	実施期日	受診人員
レントゲン検診	5月10日	339人
定期健康診断	5月24、25、26日	235
胃 検 診	6月28日	50

イ 予 防 接 種

種 目	実施期日	受診人員
日本脳炎	5月20日	66人
インフルエンザ1回目	11月17日	57
" 2回目	11月30日	53

(4) 公務災害補償

ア 法令別発生状況

区 分	地方公務員災害補償法	非常勤職員公務災害補償条例	計
件 数	4	0	4

イ 職務態様別発生状況

区 分	職 務 遂 行 中		職務遂行に伴 う必要行為中	出張中	計
	施設内	施設外			
事 務 職	0	1	1	0	2
技 術 職	0	0	0	0	0
労 務 職	2	0	0	0	2
計	2	1	1	0	4

(5) 被服貸与状況

区 分	男 子		女 子	
	事 務 服		夏事務服	冬事務服
種 類	ブレザー		事務服(上)	事務服(上下)
貸与数量	267枚		2枚	0
貸与者数	262人		1人	0

(6) 東京都市町村職員退職手当組合

ア 負担金

種 類	金 額
市 長	2,359 千円
助 役	1,194
収 入 役	966
教 育 長	982
一 般 職	47,839
特 別 負 担 金	5,295

イ 退職手当

種 類	件 数	金 額
普 通 退 職	6 件	1 2, 8 1 5 千円
死 傷 病 退 職	0	0
勸 じ ょ う 退 職	2	1 8, 5 9 0